

## 4年生用

## ゼミコースアウトライン Seminar Course Outline

For 4th year students

教員名 (Name) : 梅垣 昌子

\*ゼミタイトル *Seminar Title*

### アメリカのポップカルチャー: ポピュラー・ミュージックから映画へ ブルース、ゴスペルからロック、ヒップ・ホップ～アダプテーションとしての映画

\* 授業概要 *Outline of the contents*

超大国アメリカと言えば、「アメリカンドリーム」「自由と平等の国」などのキーワードや、華やかなハリウッド映画、あるいは世界中に展開するマクドナルドなどのファストフードなどを思い浮かべる人もあるだろう。しかし同時にアメリカは、移民の国である。世界のあらゆる場所から人々を引き寄せ、それによって生まれる活力やひずみを、さまざまな形の強大なパワーに変えてきた国なのである。

このゼミでは、日本を始め、世界各国に様々な方面で大きな影響を与え続けるアメリカが、どのような変遷をたどって現在の姿をとるようになったのか、万能のコミュニケーションツールともいえるべきポピュラー・ミュージックについて、3年ゼミで扱った音楽の流れの概要をもとに、さらに理解を深めていく。また、音楽と切り離せない映像文化に注目し、映画の世界をのぞきこむことによって、そこに反映されたアメリカの文化と歴史の表現方法を鑑賞し、アメリカという国の本質と課題を解明してゆく。

具体的には、1期にアメリカの音楽について、個別のジャンルに軸足を置きつつ、時代と地域による音楽の変遷と個別のアーティストや楽曲に関する研究を進める。そこで学んだ研究方法を使い、2期には映画作品、とりわけ、物語の原作の映画化や、リメイク作品などに注目し、時代による映画作品の変化を考察しながら、多文化の国アメリカの本質を探っていく。

\* 授業の形式 *How the class is conducted*

受講者のディスカッションとプレゼンテーションを中心として、授業を進める。その結果をゼミ論に結びつける方法については、初歩から解説し、無理なく執筆作業を進められるよう支援する。

\* 課題・成績評価基準 *Requirements and Assessment*

受講者の成績は、以下の項目を総合的に評価して決定する。

- 1) 授業でのプレゼンテーションとディスカッションへの参加 (30%)
- 2) 授業内の課題提出 (30%)
- 3) 期末レポート (40%)